

# WOOMS

## サーキュラーエコノミー実現に向けたビジネスへの挑戦

小田急電鉄株式会社  
ウェイストマネジメント事業WOOMS  
統括リーダー 正木 弾



# 小田急グループ概要



国内有数の  
ビジネス・商業拠点

**新宿**



日本を代表する  
観光地

**箱根・江の島**

住みやすい住宅エリア

**世田谷  
川崎・多摩  
県央 e.t.c**



都心から郊外、観光地など  
多彩な都市構造

運輸業を中心に  
流通、不動産、ホテルなどさまざまな事業を運営

# 循環型社会の実現にむけたビジネスの探索

地域に根差してビジネスを展開してきた私たちは、循環型社会の実現にむけて、多岐にわたるアプローチの中から、地域の現実的な課題であり、地域起点の行動が循環型社会実現への道を拓く“ごみ”に着目した。

## 小田急

- 地域で廃棄量の多い事業者の一つ
- 単独での解決は難しい



## 沿線エリア

- ごみ処理費の高騰
- 収集事業者が見つからない
- リサイクルできない



## 地域社会

- 高齢化、災害の増加・激甚化による対応が増加していく一方で、人手不足が深刻化。将来の安定的な処理に課題。
- リサイクルを拡充できる状況にない。



# 当社におけるW O O M S 事業の位置づけ

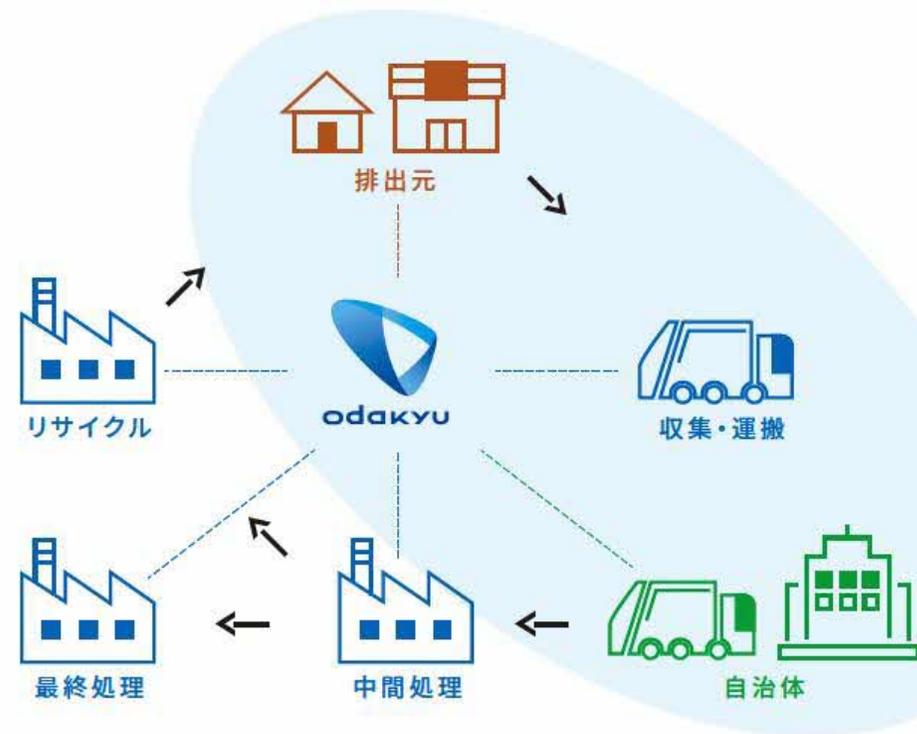
## 小田急が循環型社会の実現に向けて取り組む理由

地域の発展と持続可能な社会づくりは、小田急の使命。

これまで地域に根差した鉄道・不動産を中心としたインフラ業を営み、地域の自治体・企業・生活者と緊密な関係を有する小田急のリソースを活用し、皆さまとともに社会課題と向き合い、創造的に乗り越えていきます。



街のインフラとして重要な役割を担う「収集・運搬」を支援する“新たなインフラ事業の共創”を目指しています。



# 神奈川県座間市とサーキュラーエコノミー推進連携協定を締結

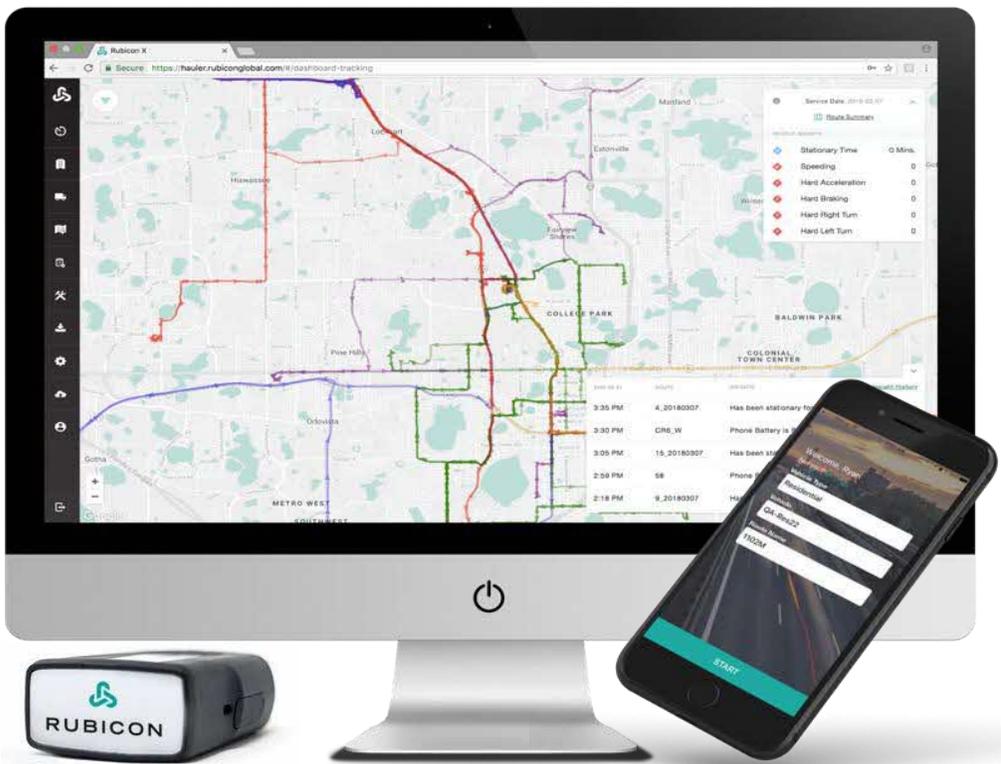


# 収集運搬業務のスマート化に向けた実証実験を開始

当社が提携を検討していた米国ルビコン・テクノロジーズ社のテクノロジーを活かして、2021年4月より座間市で実証実験を本格的にスタート。

## 実証内容

- 1 収集状況のリアルタイムモニタリングによる業務効率化
- 2 収集車両を活用した市域内インフラの効率的なチェック
- 3 上記機能を活用した新たな市民サービスの可能性の検討



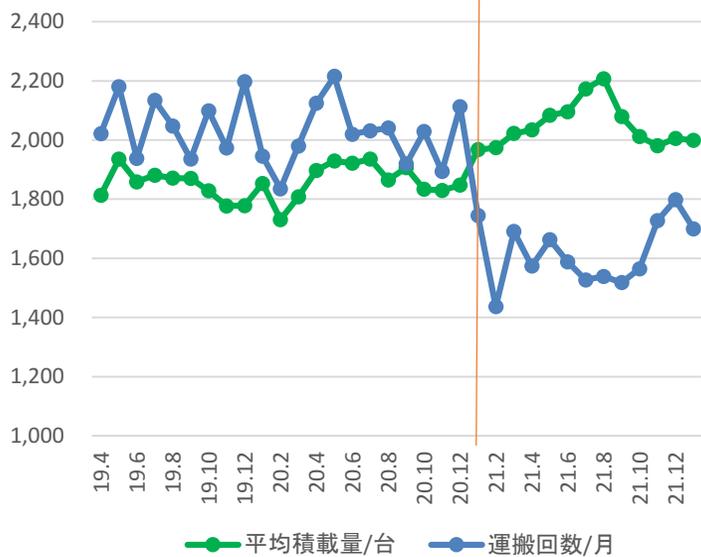
# 座間市におけるWOOMS活用の実績（定量面）

2021年1月から全車両にシステムを搭載し、本格的にデータを活用した座間市では、車両の平均積載量を引き上げ、運搬回数を大幅に削減することが可能となった。また、創出された余力により剪定枝のリサイクルに着手することで焼却量削減に成功した。

2019年度比

2021年度	車両の平均積載量	運搬回数	剪定枝リサイクル量	焼却処理量
システム実装後 年度実績	<b>+11.6%</b> 1,834kg→2,047kg 213kg 増	<b>-16.3%</b> 11,266回→9,427回 1,839回 減	<b>725.3 t</b> 純増	<b>-6.7%</b> 20,788 t →19,378 t 1,410t 減

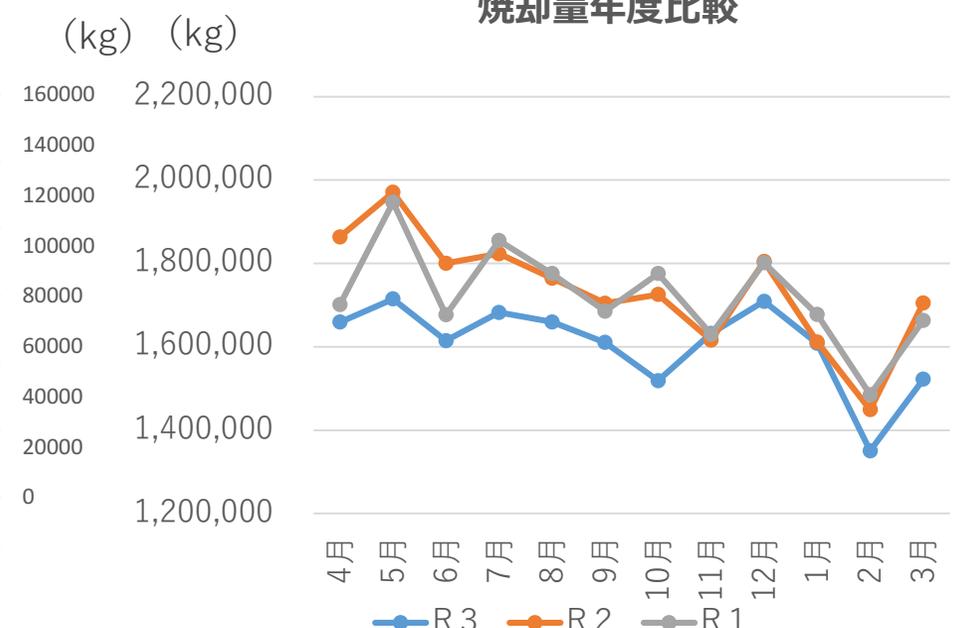
(kg) 平均積載量の引き上げによる余力創出



(回) (回) 余力を活用した剪定枝回収



焼却量年度比較

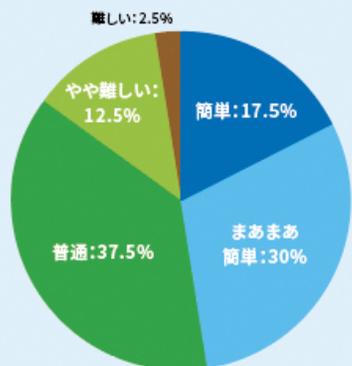


# WOOMS App&Portal 利用者アンケート

回答者の年齢構成

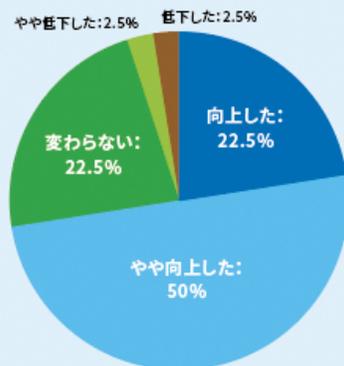


## Q1. 使い勝手はどうですか？



多くが使いこなせる操作性

## Q2. 仕事の質は変わりましたか？



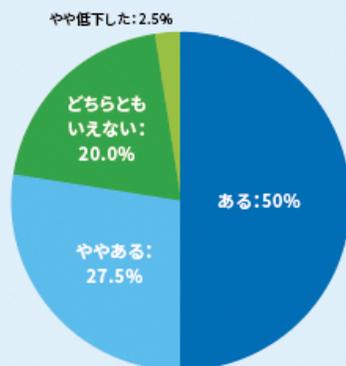
仕事の充実度が増している

## Q3. 便利だと思う機能は何ですか？（複数回答可）

- ① 他車の支援機能 ..... 92%
- ② 他車の収集状況確認 ..... 77%
- ③ 集積所自動検知 ..... 62%
- ④ 収集の検知・未検知の表示 .. 42%
- ⑤ 走行軌跡表示 ..... 30%

協力体制の構築につながる機能への評価が高い

## Q4. 業務・働き方の改善につながったことはありますか？



半分の方が明確な改善を感じることができている



### 改善点のコメント

- 支援の幅が大きく広がり、無駄も減らせている。
- 他のコースの残り状況がすぐに把握できる。
- 誰がどこの集積所を収集したのか、簡単に知ることが出来る。
- 剪定枝によるリサイクルが進み、ゴミの減量が可能となった。
- 昼休みを定時に取りやすくなった。
- コース調整が簡単になったので休暇が取りやすくなった。

# 収集余力の活用先として

座間市では、市民への啓発活動の拡充に向けたアクティベーションも企画し実施。ごみ収集の仕事からごみ減量の仕事に。

## ごみゼロゲームを活用した啓発活動

協力：坂野 晶氏（一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン）



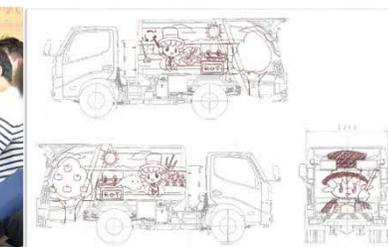
## プロギングイベント

協力：Green & Blue Challenge, 一般社団法人プロギングジャパン



## パッカー車のデザイン

協力：小田急エージェンシー



# 収集余力の活用先として

台風接近時に、市内の状況を本庁危機管理課にリアルタイムに共有。収集職員のノウハウや情報を収集以外の領域でも市民に還元できないか、幅広く検討を進めている。

危機管理課



河川



土砂崩れ注意箇所



用水路



遊水地

データを活用した「被災時、仮設トイレ設置時のし尿の効率的な回収」や、「災害廃棄物処理における派遣元との情報共有による迅速な収集体制の構築」等、今後活用の幅を拡大していく。

# 座間市における新たな資源循環に向けたチャレンジ

## 生ごみの削減

WOOMS Activation

### FOOD CYCLE project

先着 300 名様

座間市内に在住の方限定  
**モニター募集中!**

手紙に生ごみを肥料化する「バッグ型コンポスト」を無償貸出。回収された肥料も再利用し、生ごみの削減に貢献します。

申込期間 2022.7.20

おいしい循環、座間から始めます。

座間市では、資源の大切さや、環境への配慮を、生ごみ削減と資源循環を通じて市民に伝える活動をスタートしました。今年から始めた「生ごみ」の活用を推進することで、私たちの暮らしをより持続可能なものにしていく取組を進めています。

#### 応募方法

- 1 「座間市公式ウェブサイト」トップページ下部のモニター募集ページへアクセス。
- 2 エントリーフォーム「申込」を提出。
- 3 「申込の旨」とお返事いたします。アポイント調整も承ります。
- 4 「申込」とお返事いたします。「募集-申込-返信」を確認してください。
- 5 「申込」を提出してからお申し込みの「申込-申込-返信」を確認してください。
- 6 「申込」を提出してからお申し込みの「申込-申込-返信」を確認してください。

odakyu 座間市 農林水産省

## 事業系ごみの再利用

### 草・木を入れる袋にはコーヒーの使用済み麻袋を使い、新しいリユースにチャレンジします!

今年度の座間市 美化デーの仕組みは、環境省の「令和4年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」に採択されました。

これは、座間市とサントリーコーヒーロースタリー(株)・サントリーホールディングス(株)・(株)リテック・小田急電鉄(株)・神奈川県・環境省が連携して、新しいリユースの形を提案する日本初の取組です。



SUNTORY COFFEE ROASTERY SUNTORY

SUNTORY

Retec Innovation

odakyu

神奈川県

環境省 Ministry of the Environment

# 2021年9月1日 ウェイストマネジメントWOOMSを事業化



## NEWS RELEASE



第21-28号

2021年9月1日

### 「“ごみ”のない世界へ。Beyond Waste」を事業ビジョンに！

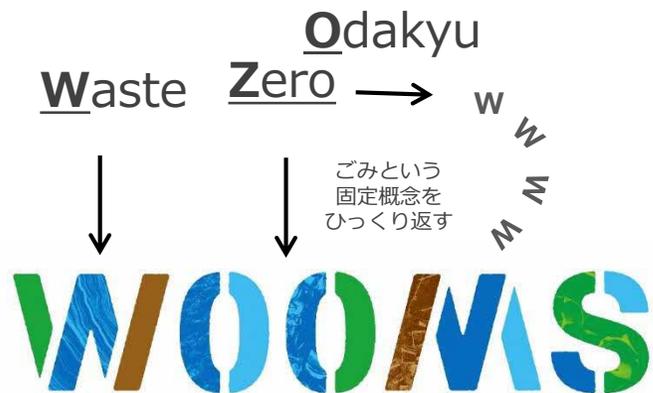
### 9月1日 ウェイストマネジメント事業「WOOMS」を始動！

#### ～資源・廃棄物の収集運搬のソリューションを通じて持続可能な地域社会に貢献します～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現に重要な役割を果たす資源・廃棄物の収集運搬を新たなインフラと定義し、その構築を目指し「“ごみ”のない世界へ。Beyond Waste」を事業ビジョンとするウェイストマネジメント事業「WOOMS」（ウームス）（以下、本事業）を2021年9月1日に始動します。これは、主に自治体や廃棄物排出・収集事業者を対象に廃棄物収集業務を効率化し、そこから生まれたリソースをごみの削減やリサイクルの拡充へと繋げる取り組みです。

本事業では、資源・廃棄物に関わる自治体や事業者には、テクノロジーを活用した収集から事務業務の効率化を支援する「収集・排出サポート」と、効率化による余力を活用し、資源循環を高める施策を提供する「資源循環サポート」で構成するソリューションを順次提供します。

### “ごみ”のない持続可能で豊かな「循環型社会」を実現するチーム

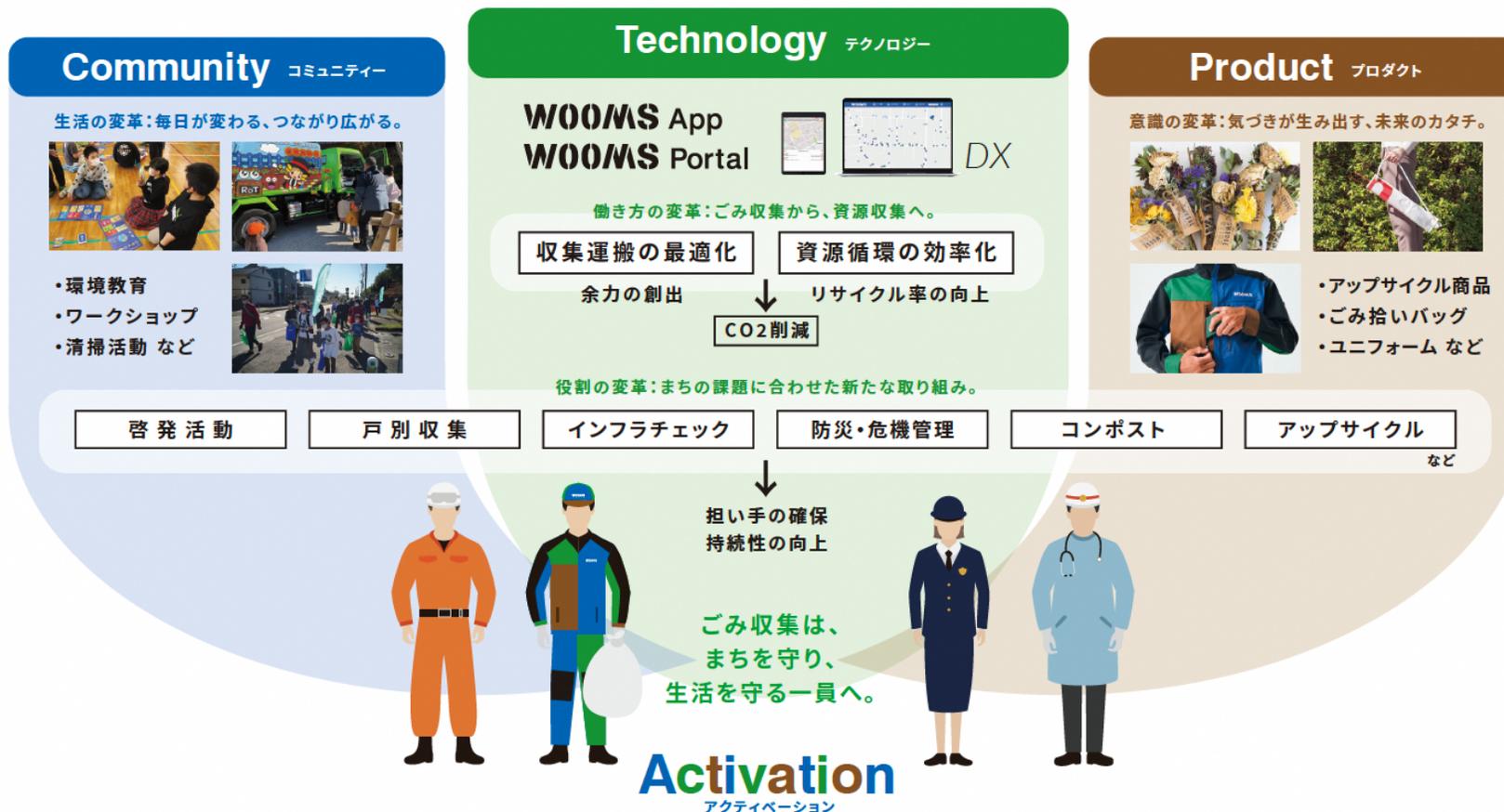


小田急グループ各社で鉄道・まちづくり等のインフラ運営の経験を有するメンバーを中心に20名程度のメンバーでスタート

# WOOMSのサービス体系

WOOMSは、循環型社会実現を目指す自治体（本庁・現業）に寄り添い、伴走しながら、「テクノロジー」、「コミュニティ」、「プロダクト」領域のノウハウを活用することで政策課題実現をサポートいたします。

**WOOMS** ごみからはじめる  
サステナブルなまちづくり



3つのサービスを活用し、課題解決・目標達成に、最適な共創プログラム・プロジェクトをご提案します。

Odakyu  
Waste  
Management  
Project

**WOOMS**

“ごみ”のない世界へ。

*Beyond Waste*

<https://www.wooms.jp/>

Thank you.

